

J-STAGEセミナー 「オープンサイエンス時代に対応したジャーナル出版のありかた」  
第3回「平成29年度ジャーナルコンサル(パイロット)報告とJ-STAGEユーザー集会」

# J-STAGE登載誌の品質向上に向けて ～信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件とは～

平成30年3月20日

知識基盤情報部



科学技術振興機構

# 本日の内容

1. 信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件とは  
(第1回セミナーの振り返り等)
  - ーJ-STAGE登載誌の品質向上に向けた取り組み
  - ーオープンアクセスとは
  - ーオープンアクセスをめぐる国内外の状況
2. J-STAGEにおけるオープンアクセスへの対応
  - ーシステム改修
  - ーオープンアクセスガイド
  - ージャーナルコンサルティング(パイロット)について

# 本日の内容

1. 信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件とは  
(第1回セミナーの振り返り等)
  - J-STAGE 登載誌の品質向上に向けた取り組み
  - オープンアクセスとは
  - オープンアクセスをめぐる国内外の状況
2. J-STAGEにおけるオープンアクセスへの対応
  - システム改修
  - オープンアクセスガイド
  - ジャーナルコンサルティング(パイロット)について

# 2017年度J-STAGEセミナー

## 年間テーマ

**「オープンサイエンス時代に対応したジャーナル出版のありかた」**

**【第1回】2017年4月4日**

**「オープンアクセスジャーナルに求められることとは」**  
オープンアクセスジャーナルに必要な要件の説明

**【第2回】2017年8月1日**

**「オープンサイエンス時代の研究成果公開 ～データ出版～」**  
データ公開の新しい手法であるデータジャーナルの紹介

**【第3回】2017年3月20日**

**「平成29年度ジャーナルコンサル(パイロット)報告とJ-STAGEユーザー集会」**  
J-STAGE登載誌の品質向上に向けた取り組みや今年度、実施したジャーナルコンサル  
ティングの事例紹介

# J-STAGE登載誌の品質向上に向けた取り組み

## J-STAGE登載誌の品質向上にあたっての課題

- 投稿数や引用数  
特に海外からの投稿や引用
- 編集体制の強化
- Webページの改善
- マーケティング
- オープンアクセス など

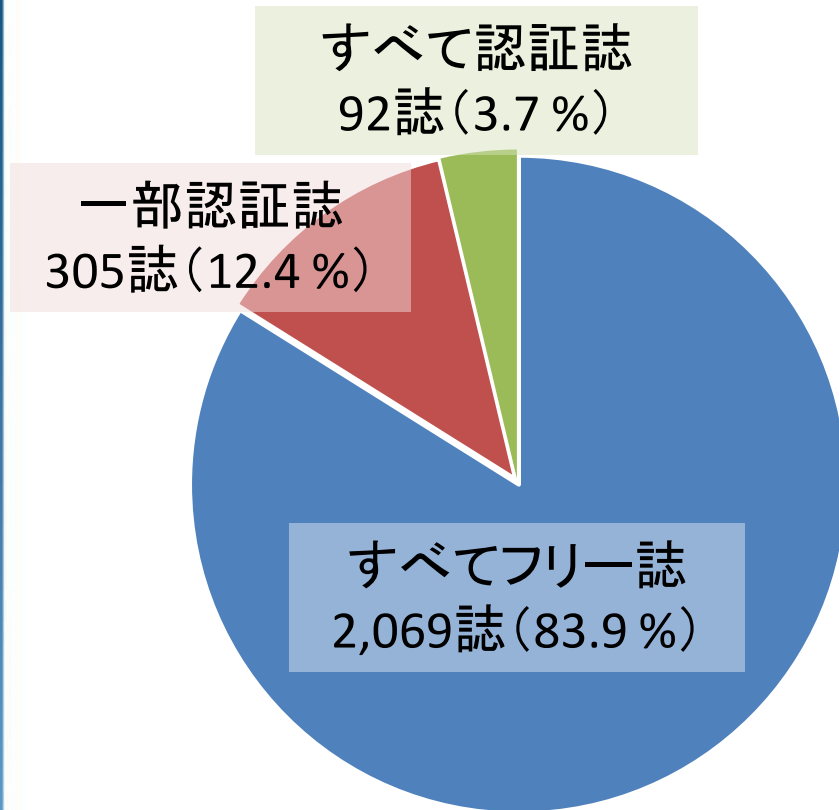


J-STAGE事業では、電子ジャーナル出版を推進するプラットフォームとしての役割に加えて、登載誌の品質向上に向け、利用機関に対するサービス面での支援を強化

# J-STAGE登載誌の品質向上に向けた取り組み

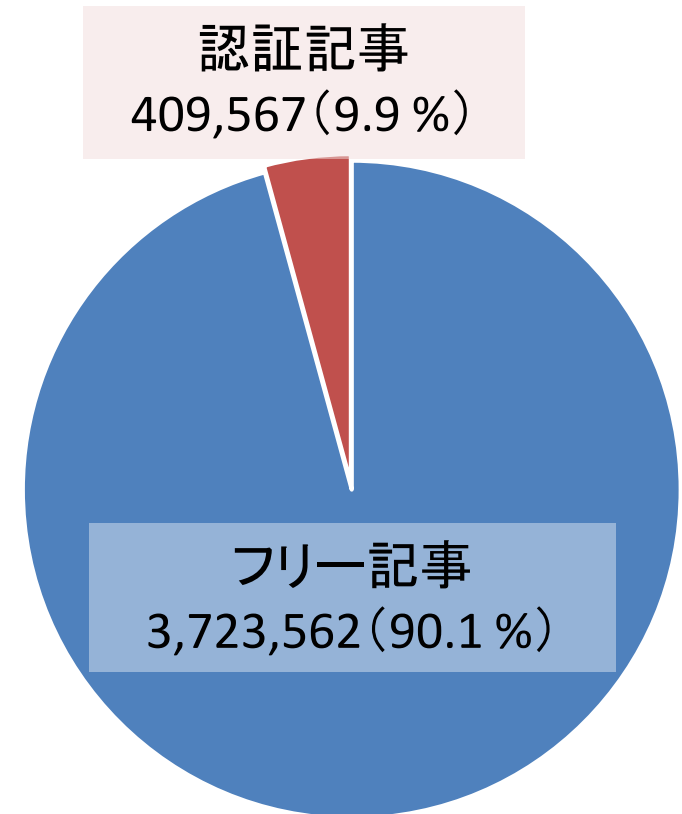
## J-STAGE登載誌のフリー・認証の状況

### 資料数



全2,466誌

### 記事数



全4,133,129記事

(2017年12月末現在)

# J-STAGE登載誌の品質向上に向けた取り組み

## 科学技術情報発信・流通総合システム(J-STAGE)利用規約

(本サービス)

### 第1条

1. 機構は、本サービスとして、電子化された科学技術刊行物のJ-STAGEへの登載、国内外の電子ジャーナルサイト等との相互リンクの構築、及びこれらに関連・付随するサービスを提供することにより、我が国の科学技術刊行物の国内外への情報発信及び流通を促進し、またオープンアクセスを推進することを目指す。

2. 利用機関は、本サービスを活用することにより、高い出版倫理のもと、質の高い科学技術刊行物の国内外への情報発信及び流通、並びにオープンアクセスに積極的に取り組むものとし、本サービスの円滑な運営とJ-STAGEの品質向上を目的とした機構の取組みに協力する。

# J-STAGE登載誌の品質向上に向けた取り組み

- J-STAGEの登載誌は、その約85%がフリー誌
- 様々なオープンアクセス誌が発行される中で、信頼性のあるジャーナルとしての要件を整備することは、J-STAGE登載誌の品質向上に有効



- システム改修
- オープンアクセス,CCライセンスマークの表示機能等
- J-STAGEセミナーによるオープンアクセスの啓発活動
- オープンアクセスガイドの提供
- ジャーナルコンサルティング
- DOAJ収録支援(計画中)



# 本日の内容

1. 信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件とは  
(第1回セミナーの振り返り等)
  - J-STAGE 掲載誌の品質向上に向けた取り組み
  - オープンアクセスとは
  - オープンアクセスをめぐる国内外の状況
2. J-STAGEにおけるオープンアクセスへの対応
  - システム改修
  - オープンアクセスガイド
  - ジャーナルコンサルティング(パイロット)について

# オープンアクセスとは (概要)

## ● オープンアクセスとは

学術論文等をウェブ上に無料公開することで、誰もが障壁なくアクセスできるようにする仕組みのこと。2002年、ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティブ (BOAI: Budapest Open Access Initiative) では、以下の通り定義された。

## ● ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティブ

[ピアレビューされた研究文献]への「オープンアクセス」とは、それらの文献が、公衆に開かれた**インターネット上において無料で利用可能**であり、閲覧、ダウンロード、コピー、配布、印刷、検索、論文フルテキストへのリンク、インデクシングのためのクローリング、ソフトウェアヘデータとして取り込み、その他合法的目的のための利用が、インターネット自体へのアクセスと不可分の障壁以外の、財政的、法的また技術的障壁なしに、誰にでも許可されることを意味する。複製と配布に対する唯一の制約、すなわち著作権が持つ唯一の役割は、著者に対して、その著作の同一性保持に対するコントロールと、寄与の事実への承認と引用とが正当になされる権利とを与えることであるべきである。

(出典: <http://www.budapestopenaccessinitiative.org/boai-10-translations/japanese-translation-1>)

# オープンアクセスジャーナルとは

## オープンアクセスジャーナル

インターネット上で無料でアクセスできる (フリーアクセス)

+

J-STAGEではほぼ実現

再利用範囲が明示されている (CCライセンス等)

+

## 信頼されるオープンアクセスジャーナル

- 各種ドキュメントの整備/関連事項の記載  
(投稿規定、査読規程、倫理規定、利益相反・・・等)
- 査読の透明性(査読基準、ジャーナルスコープ等)
- しっかりとした編集体制(委員会、コンタクト先等) 他

### ● DOAJへの登録 (要件詳細は後述)

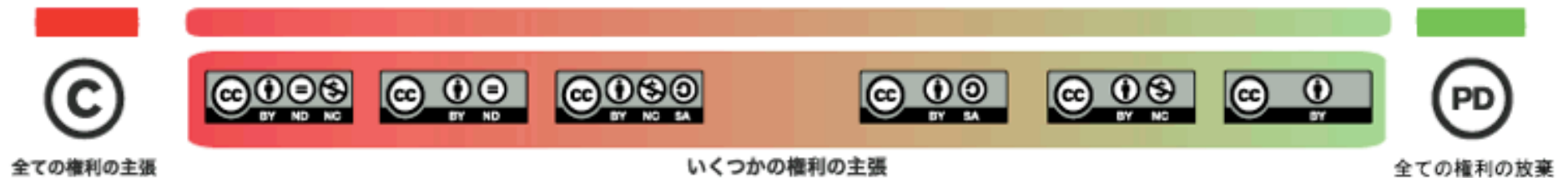
出典: <http://www.budapestopenaccessinitiative.org/boai-10-translations/japanese-translation-1>  
[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/criteriaForOpenAccess\\_170404.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/criteriaForOpenAccess_170404.pdf)

及びJ平成29年度第1回-STAGEセミナー INLEXIO社資料 をもとに作成

# 再利用範囲の明示

## クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（CCライセンス）





CCライセンスとはインターネット時代のための新しい著作権ルールで、作品を公開する作者が「この条件を守れば私の作品を自由に使って構いません。」という意思表示をするためのツール。CCライセンスを利用することで、作者は著作権を保持したまま作品を自由に流通させることができ、受け手はライセンス条件の範囲内で再配布やリミックスなどを行うことができる。



CCライセンスは、学術雑誌のオープンアクセス化におけるライセンスとして、世界的にデファクト・スタンダードとなっている。

( 出典 : <http://creativecommons.jp/licenses/> )

# CCライセンスの種類

条件	内容
BY [表示] 	作品のクレジットを表示することを主な条件とし、改変も営利目的での二次利用も許可。
NC [非営利] 	営利目的での使用をしないこと → 第三者が論文を販売したり、何らかのかたちで収益をあげたりすることを禁止。 許諾をとれば営利の使用もOK。
ND [改変禁止] 	元の作品を改変しないこと → ユーザーが(著作権者から特別な許可を与えられないまま) 文献の翻訳やその他の派生物を作成することを禁止する。
SA [継承] 	元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開すること →、改変した場合には元の作品と同じCCライセンス(このライセンス)で公開することを主な条件に、営利目的での二次利用も許可されるCCライセンス。

( 出典 : <http://creativecommons.jp/licenses/> )

# DOAJ (Directory of Open Access Journals)

## Directory of Open Access Journals (DOAJ)

<https://doaj.org/>

- 高品質、ピアレビュー有りのオープンアクセスの学術雑誌及びその記事のメタデータを登載したオンライン・ディレクトリ・サービス。
- 特定の言語や地域(現在、123か国)によらず、「オープンアクセス」の選定基準を満たす学術雑誌をカバー。
- DOAJは、出版社メンバーやスポンサーの寄付によって運営される独立組織で、サービスの利用は無料。

データベース	収録数	うち、 出版国＝日本	うち、 J-STAGE登載誌
DOAJ	11,310誌 2,973,607記事	19誌 2,578記事	5誌

(2018年3月16日現在)

(出典: <https://doaj.org/>)

# DOAJ (Directory of Open Access Journals)

**DOAJ** DIRECTORY OF  
OPEN ACCESS  
JOURNALS

SUPPORT DOAJ

[Home](#) [Search](#) [Browse Subjects](#) [Apply](#) [News](#) [About](#) [For Publishers](#) [API](#)

[Login](#)

Search DOAJ



journals  articles

[\[Advanced Search\]](#)

11,253 Journals  
8,198 searchable at Article level  
123 Countries  
2,958,216 Articles

[FAQs](#)

[OAI-PMH, XML, Widgets](#)

[Open Access Resources](#)

[Best Practice](#)

[Download metadata](#)

[New Journals Feed](#)

[SCOSS: facilitating funding for sustainable OA](#)

[Our members](#)

[Our publisher members](#)

[Our sponsors](#)

[Our volunteers](#)

## Directory of Open Access Journals (DOAJ)

DOAJ is a community-curated online directory that indexes and provides access to high quality, open access, peer-reviewed journals. DOAJ is independent. All funding is via donations, 50% of which comes from [sponsors](#) and 50% from [members and publisher members](#). All DOAJ services are free of charge including being indexed in DOAJ. All data is freely available.

DOAJ operates an education and outreach program across the globe, focussing on improving the quality of applications submitted.

## Latest News

### [DOAJ's Mission \(updated March 2018\)](#)

DOAJ has just updated its mission to take into account our new Education and Outreach program. I thought that this would be a good opportunity to highlight and explain the elements of the mission in detail. DOAJ's mission is to increase the visibility, accessibility, reputation, usage and impact of quality, peer-reviewed, open access scholarly research [...] [Read More...](#)

*Published Wed, 07 Mar 2018 at 13:14*

(出典: <https://doaj.org/>)

# DOAJ (Directory of Open Access Journals)

DOAJ DIRECTORY OF OPEN ACCESS JOURNALS

SUPPORT DOAJ

Home Search Browse Subjects Apply News About For Publishers API

Login

share | embed

x 10 ↓

order by ... relevance ▾

Country of publisher ▾ Japan

– Journals vs Articles

Journals x

– Subject

10 count ↓ OR

Medicine (General) (4)

Medicine (2)

Ethnology. Social and cultural anthropology (2)

Therapeutics. Pharmacology (1)

Theory and practice of education (1)

Technology (1)

Science (1)

Reproduction (1)

Religions. Mythology. Rationalism (1)

Religion (General) (1)

Journals vs Articles: Journals x

1 – 10 of 18



Antarctic Record

Nankyoku Shiryo

ISSN: 0085-7289 (Print); 2432-079X (Online)

<http://www.nipr.ac.jp/library/en/ar/index.html>

Blind peer review

Subject: Geography. Anthropology. Recreation: Geography (General)

Date added to DOAJ: 23 Oct 2017

CC BY



Reproductive Medicine and Biology

ISSN: 1445-5781 (Print); 1447-0578 (Online)

[http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/\(ISSN\)1447-0578](http://onlinelibrary.wiley.com/journal/10.1111/(ISSN)1447-0578)

Blind peer review

Subject: Medicine: Internal medicine: Specialties of internal medicine: Diseases of the endocrine glands. Clinical endocrinology | Science: Biology (General): Reproduction

Date added to DOAJ: 18 Jul 2017

CC BY-NC-ND



APC: 1600USD



Science Postprint

ISSN: 2187-9834 (Online)

<http://www.spp-j.com/>

CC BY-NC-ND



(出典: <https://doaj.org/>)



# DOAJ (Directory of Open Access Journals)

## DOAJにおける登録の要件

- オープンアクセスであること(ハイブリッドジャーナルは不可)
- 年間に一定数の記事を発表していること
- ジャーナルのWebサイトが機能していること
- 編集過程に不正がないこと
- ベストプラクティス(次頁)を遵守していること

(出典: <https://doaj.org/bestpractice>  
<https://doaj.org/faq#works>)

# DOAJ (Directory of Open Access Journals)

## DOAJにおける透明性とベストプラクティス

### 1. ウェブサイト

高い倫理性と専門性を有していること

### 2. ジャーナル名

一意性があり、他ジャーナルと混同されにくいこと

### 3. ピアレビュープロセス

ピアレビュープロセスやポリシーをWebに明記すること

### 4. 所有権とマネジメント

ジャーナルの所有権者や管理方針をWebに明記すること

### 5. 運営組織

対象分野の専門家からなる編集委員会を有しWebに明記すること

### 6. 編集体制/連絡体制

編集者氏名や住所を含む編集事務所をWebに明記すること

### 7. 著作権とライセンス

著作権者を明確にし、著者がドラインをWebに明記すること

### 8. 著者費用

原稿提出前に容易にわかるようにWebに明記すること

(次頁続く)

# DOAJ (Directory of Open Access Journals)

## 9. 研究不正時の申立と対処

(続き)

研究不正防止と発生時の合理的措置をWebに明記すること

## 10. 出版倫理

出版倫理方針をWebに明記すること

## 11. 出版スケジュール

出版までの流れを明示すること

## 12. アクセス

記事へのアクセス方法と有料記事の有無を明示すること

## 13. アーカイブ

ジャーナルが公開されなくなった場合の保存とバックアップ計画を明示すること

## 14. 収入源

収入源をWebに明記すること

## 15. 広告

広告が編集上の意思決定に関連せず、コンテンツと区別されていること

## 16. ダイレクト・マーケティング

原稿勧誘を含むダイレクト・マーケティング活動が適切に行われ、提供する情報が読者や著者の誤解を招くものでないこと

# 【参考】オープンアクセスとは（背景）

- 1980年代  
学術出版社の寡占化や学術雑誌の商業化などによって価格上昇。
- 1980年代後半
  - 北米の大学図書館が学術雑誌の価格高騰により購読タイトル数を減少させた。
  - 学術雑誌の価格高騰と、それに伴う購読者の減少、さらに価格高騰が繰り返される悪循環(シリアルズ・クライシス)に陥った。
- 1990年代
  - 北米より約10年遅れて日本でもシリアルズ・クライシスが発生。日本の大学図書館は限られた予算の中でコア・ジャーナルに購読を絞っていった。

（出典：オープンアクセスハンドブック,東京大学図書館、カレントアウェアネスをもとに作成）

# 【参考】オープンアクセスとは（背景）

## ● 1990年代

- インターネットの普及に伴う電子ジャーナルの登場
- 図書館は購読数の減少を食い止めるため、図書館間相互協力を推進。
- 研究者自身による研究成果をプレプリントサーバやリポジトリで公開など取り組み。

## ● 2000年代

- Public Library of Science(PLoS)  
あらゆる学術雑誌の全文に誰でも自由に無料でアクセスできるようにするよう呼びかけるプロジェクト。
- 2001年 オープンアクセスに関する初めての国際会議。
- 2002年「ブダペスト・オープンアクセス・イニシアティヴ」を宣言
- 研究助成機関によるオープンアクセスの推進。



2000年代にオープンアクセスジャーナルが増加

# 【参考】オープンアクセスとは（背景）

## オープンアクセスジャーナルの発行

- 多くのオープンアクセスジャーナルでは、読者から購読料をとる代わりに著者から論文処理費用(Article Processing Charge: APC)をとり、出版費用を賄っている場合が多い。
- 2000年代に入ると一部商業出版社が、査読が不十分で出版体制も不透明な低価格のオープンアクセスジャーナル(Predator Journal)を数多く発行。オープンアクセスジャーナルへの信頼性が低下した。
- そのような背景から、2003年に一定の要件を満たしたオープンアクセスジャーナルのリストをwebサイトで公開するDOAJ(The Directory of Open Access Journals)が開設された。

(出典: オープンアクセスハンドブック, 東京大学図書館、カレントアウェアネスをもとに作成)

# 本日の内容

1. 信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件とは  
(第1回セミナーの振り返り等)
  - ー J-STAGE 登載誌の品質向上に向けた取り組み
  - ー オープンアクセスとは
  - ー オープンアクセスをめぐる国内外の状況
2. J-STAGE におけるオープンアクセスへの対応
  - ー システム改修
  - ー オープンアクセスガイド
  - ー ジャーナルコンサルティング(パイロット)について

# オープンアクセスをめぐる国内外の状況

## 各国・地域におけるオープンアクセスの状況

### ■ 米国

- アメリカ合衆国大統領行政府 科学技術政策局 (OSTP) (2013年2月)
  - OSTP Memorandum “Increasing Access to the Results of Federally Funded Scientific Research” を発行。
  - 年間 1 億ドル以上の研究開発費を有する研究助成機関に対し、2013年8月末までに “Increasing Access to the Results of Federally Funded Scientific Research (論文と科学データへのアクセス拡大計画)” を策定することを指示。
- NIHやNSFが研究資金を提供する研究に対し、その研究成果へのオープンアクセスを推奨している。

### ■ 英国

- 2013年より、英国研究会議 (RCUK) が研究資金を提供する研究に対し、論文掲載料 (APC) を支援する包括的助成金 (Block Grants) 制度を施行し、オープンアクセスジャーナルによる論文のオープン化を義務化している。
- Wellcome Trustなどの民間財団でもオープンアクセスを推奨する動きが広がっている。

### ■ Horizon2020

原則として、公的にファンドされた研究成果へのオープンアクセスは義務化され、研究データへのオープンアクセスについても促進することとしている。



# オープンアクセスをめぐる国内外の状況

## 日本におけるオープンアクセスの動向

### ■ 内閣府 国際的動向を踏まえたオープンサイエンスに関する検討会

「我が国におけるオープンサイエンス推進のあり方について」(2015年3月)

### ■ 文部科学省 第8期 科学技術・学術審議会 学術分科会 学術情報委員会

「学術情報のオープン化の推進について(審議まとめ)」(2016年2月26日)

## ファンディング機関

### ■ 日本学術振興会(JSPS)

科研費の助成を受けた研究の論文についてオープンアクセス化を推奨

### ■ 日本医療研究開発機構(AMED)

公募要領において、必要な知的財産等の取得等に十分留意した上で、可能な限り研究成果のオープンアクセスに努めるよう記載

# JSTのオープンサイエンス方針

## オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関するJSTの基本方針（2017年4月1日）

- 「オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関するJSTの基本方針」
  - I. 研究成果論文のオープンアクセス化について
    - 全ての研究成果論文を、原則としてオープンアクセスの対象
  - II. 研究データの取扱いについて
    - データマネジメントプランの作成
      - 採択後研究開始までに提出することを義務化
    - 研究データの保存・管理と公開
      - 論文エビデンスデータの公開を推奨
- 「『オープンサイエンス促進に向けた研究成果の取扱いに関するJSTの基本方針』運用ガイドライン」

# JST成果論文のオープンアクセス化方針

対象	方針	方法	文書種別	公開場所	留意事項
全ての研究成果論文	グリーンを推奨。ゴールドも可。	グリーン	著者最終稿等	国の施策として進められている機関リポジリ等を活用	(出版社の)各種許諾条件や著者最終稿の公開に係る猶予期間に配慮する
		ゴールド	出版社版	(出版社サイト)	投稿先の選択は研究者自身の判断によるものであり、オープンアクセスを前提とした学術誌等への投稿を推奨するものではない

※グリーンOAについては、機関リポジリ以外の方法(プレプリントサーバ、研究者ホームページ等)も可とする。

# 【参考】オープンアクセスジャーナルの種類

## オープンアクセスの種類

### ①グリーンOA:

著者自身がウェブサイトなどで自著論文を公開するセルフ・アーカイブによるオープンアクセス

### ②ゴールドOA:

著者が論文処理費用(APC)を支払う、大学・研究機関等の発行元が経費を負担する、助成団体等から出版経費の支援を受ける等で出版コストが賄われ、掲載論文をウェブ上で無料公開するオープンアクセス

### ③ハイブリッドジャーナル:

雑誌自体は有料の購読誌でも、著者が APC を支払った論文のみオープンアクセスとするオプションを備えたジャーナル

# 本日の内容

1. 信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件とは  
(第1回セミナーの振り返り等)
  - ーJ-STAGE登載誌の品質向上に向けた取り組み
  - ーオープンアクセスとは
  - ーオープンアクセスをめぐる国内外の状況
2. J-STAGEにおけるオープンアクセスへの対応
  - ーシステム改修
  - ーオープンアクセスガイド
  - ージャーナルコンサルティング(パイロット)について

# J-STAGEにおけるオープンアクセスへの対応

- システム改修
- オープンアクセス,CCライセンスマークの表示機能等
- J-STAGEセミナーによるオープンアクセスの啓発活動
- オープンアクセスガイドの提供
- ジャーナルコンサルティング
- DOAJ収録支援(計画中)

# J-STAGEにおけるオープンアクセスへの対応

## オープンアクセス表示

検索結果画面

オープンアクセス記事の絞り込みが可能

検索結果画面

検索結果

検索

検索フィルター

以下の条件での結果を表示する:  
標準: J-STAGE

お気に入り検索に追加

すべての検索フィルターをリセットする

10,149件中1-20の結果を表示しています

すべての抄録を表示する

資料種別

並び替え ヒット率

ジャーナル (8,249)

会議録・要旨集 (1,852)

研究報告書 (18)

学位論文 (73)

その他

言語有無

言語あり (4)

言語なし (0)

記事属性

新着 (101)

早期公開 (6)

本文 (HTML) (73)

電子付録 (5)

リセット

認証

- フリー (9,112)
- オープンアクセス (204)
- 認証あり (1,037)

認証

フリー (9,112)

オープンアクセス (204)

認証あり (1,037)

巻号一覧画面(記事一覧)

オープンアクセス記事を表示

Fujita Medical Journal

保護された通信 | https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fmj/3/3/\_contents/-...

J-STAGE 資料を探す J-STAGEについて サポート&ニュース

サインイン カート JA

Fujita Medical Journal

Online ISSN : 2189-7255  
Print ISSN : 2189-7247

資料トップ 巻号一覧 この資料について

J-STAGEトップ / Fujita Medical Journal / 巻号一覧

検索 このジャーナル内を検索する 検索 OR 閲覧 3巻 3号 ページ 実行

詳細検索

巻号一覧

3巻, 3号

選択された号の論文の5件中1~5を表示しています

メタデータをダウンロード すべての抄録を表示する

Original Articles

4号 p. 76-  
3号 p. 48-  
2号 p. 24-  
1号 p. 1-

2巻 (2016) +  
1巻 (2015) +

Andrographolide from the he cultured human leukemic cell  
Hiroki Doi, Taei Matsui, Tamae  
原稿種別: Original Articles  
3巻 (2017) 3号 p. 48-54  
公開日: 2017/09/05

[DOI] https://doi.org/10.20407/fmj.3.3\_48

ジャーナル オープンアクセス HTML

抄録を表示する PDF形式でダウンロード (1653K) HTML形式で全画面表示

Functional capacity, self-rated health status, and psychosocial characteristics of employed cancer survivors in Japan  
Yoshiji Katoh, Atsuhiko Ota, Hiroshi Yatsuya, Yuanying Li, Hisao Naito ...

オープンアクセス

# J-STAGEにおけるオープンアクセスへの対応

## J-STAGEのCCライセンス表示

### 書誌画面

The image displays two browser screenshots of the J-STAGE website. The left screenshot shows the article page for 'Functional capacity, self-rated health status, and psychosocial characteristics of employed cancer survivors in Japan'. The right screenshot shows a list of references, with a red box highlighting the CC BY license icon for the article by Endo M, Haruyama Y, Takahashi M, Nishiura C, Kojimahara N, Yamaguchi N. Another red box highlights the CC BY license icon for the article by The Ministry of Health, Labour and Welfare. A red arrow points from the top-right box to the bottom-left box.



# J-STAGEにおけるオープンアクセスへの対応

## CCライセンス表示ジャーナル 45誌(2018年3月16日現在)

発行機関名	資料名	CCLマーク	発行機関名	資料名	CCLマーク
デジタルアーカイブ学会	デジタルアーカイブ学会誌	CC-BY	日本移植学会	移植	CC-BY-NC-ND
ホソカワミクロン株式会社	粉碎	CC-BY	日本脳神経外科学会	Neurologia medico-chirurgica	CC-BY-NC-ND
ホソカワ粉体工学振興財団	ホソカワ粉体工学振興財団年報	CC-BY	日本脳神経外科学会	NMC Case Report Journal	CC-BY-NC-ND
ホソカワ粉体工学振興財団	KONA Powder and Particle Journal	CC-BY	日本福祉のまちづくり学会	福祉のまちづくり研究	CC-BY-NC-ND
日本地震学会、地球電磁気・地球惑星圏学会、日本火山学会、日本測地学会、日本惑星科学会	Earth, Planets and Space	CC-BY	外国語教育評価学会	外国語教育評価学会研究紀要	CC-BY-NC-ND
日本表面科学会	e-Journal of Surface Science and Nanotechnology	CC-BY	日本獣医学会	Journal of Veterinary Medical Science	CC-BY-NC-ND
地理科学学会	地理科学	CC-BY	日本脳神経血管内治療学会	Journal of Neuroendovascular Therapy	CC-BY-NC-ND
藤田学園医学会	Fujita Medical Journal	CC-BY	日本脳神経血管内治療学会	脳血管内治療	CC-BY-NC-ND
グローバルビジネスリサーチセンター	Annals of Business Administrative Science	CC-BY	日本ウマ科学会	Journal of Equine Science	CC-BY-NC-ND
日本細胞生物学会	Cell Structure and Function	CC-BY	日本語テスト学会	日本語テスト学会研究紀要	CC-BY-NC-ND
水文・水資源学会／日本地下水学会／日本水文科学会／陸水物理研究会	Hydrological Research Letters	CC-BY	日本語テスト学会	日本語テスト学会誌	CC-BY-NC-ND
日本疫学会	Journal of Epidemiology	CC-BY	日本静脈学会	静脈学	CC-BY-NC-ND
順天堂医学会	Juntendo Medical Journal	CC-BY	日本繁殖生物学会	Journal of Reproduction and Development	CC-BY-NC-ND
日本気象学会	Journal of the Meteorological Society of Japan. Ser. II	CC-BY	日本平滑筋学会	日本平滑筋学会雑誌	CC-BY-NC-ND
日本原生生物学会	Journal of Protistology	CC-BY	日本平滑筋学会	Journal of smooth muscle research Japanese section	CC-BY-NC-ND
日本気象学会	SOLA	CC-BY	日本平滑筋学会	日本平滑筋学会雑誌	CC-BY-NC-ND
日本消化器外科学会	日本消化器外科学会雑誌	CC-BY-NC	日本脈管学会	脈管学	CC-BY-NC-ND
日本表面科学会	表面科学	CC-BY-NC	Annals of Vascular Diseases 編集委員会	Annals of Vascular Diseases	CC-BY-NC-SA
横断型基幹科学技術研究団体連合	横幹	CC-BY-NC	日本核医学会	核医学	CC-BY-NC-SA
日本内分泌外科学会・日本甲状腺外科学会	日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌	CC-BY-NC	日本動脈硬化学会	Journal of Atherosclerosis and Thrombosis	CC-BY-NC-SA
日本平滑筋学会	Journal of Smooth Muscle Research	CC-BY-NC	日本血管外科学会	日本血管外科学会雑誌	CC-BY-NC-SA
国公立大学図書館協力委員会	大学図書館研究	CC-BY-NC			
兵庫県立大学	Japan Social Innovation Journal	CC-BY-NC			
日本質量分析学会	Mass Spectrometry	CC-BY-NC			

# 本日の内容

1. 信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件とは  
(第1回セミナーの振り返り等)
  - ー J-STAGE 登載誌の品質向上に向けた取り組み
  - ー オープンアクセスとは
  - ー オープンアクセスをめぐる国内外の状況
2. J-STAGE におけるオープンアクセスへの対応
  - ー システム改修
  - ー **オープンアクセスガイド**
  - ー ジャーナルコンサルティング(パイロット)について

# J-STAGEにおけるオープンアクセスへの対応

## 背景

オープンアクセスジャーナルが増加する中で、一定の要件を満たした品質の高いジャーナルを発行することは学協会にとって重要。発行するジャーナルが研究者によって信頼され、また論文投稿数の増加や投稿論文の質の向上につながる。



その一方で、ジャーナルを発行する日本の多くの学協会は、オープンアクセスジャーナルを出版する十分なノウハウを有していない。

- オープンアクセスガイド
  - オープンアクセスに向けたコンサルティング
- } による支援を実施

# オープンアクセスガイド

## 目的

- 信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件を整備するノウハウを学協会に提供。  
→オープンアクセスガイドは配布希望があった約60学協会に対し、提供。

## 内容

1. オープンアクセス標準ドキュメント  
テンプレート(整備すべき文書のひな形)
2. FAQ
3. 著者向けインストラクション
4. 倫理方針
5. 査読者向けガイド
6. License to publish
7. オープンアクセスガイド
8. ジャーナル作成ガイド

# オープンアクセスガイド

## オープンアクセスに関する説明と整備すべき文書のテンプレート

### 説明

#### Notes on "Open Access Frequently Asked Questions"

##### Purpose of this document

A page dedicated to "Frequently Asked Questions" can be a useful and effective way to guide the users of a journal. Providing answers to frequently asked questions is especially important when a journal implements any big changes, such as moving to Open Access. The answers can often be found elsewhere, such as in the Instructions to Authors, but capturing them all in one place helps users to find useful information quickly and easily.

##### How journals should use this document

Journal owners should add this document as a page on their journal's website and (if possible) on the journal's J-STAGE site.

Journals should regularly review and update this information as their policies change, and ensure that it is consistent with information on other journal pages such as the Instructions to Authors.

##### Implementation phase

This document must be adapted by each journal to suit its specific circumstances. Each journal should:

- carefully read and check the entire document to ensure that it accurately reflects the journal's situation
- adjust or delete items in red square brackets ([]) according to the journal's specifications and requirements
- add journal-specific links (URLs) for relevant forms and webpages
- read and address the associated comments (which are provided for guidance), and remove the comments from the text before it is published online.

Journal owners should fully consider the background, implementation and potential impacts of any decisions they make on their journals. These issues are explored in more detail in the Open Access Guide.

### テンプレート

#### Open Access: Frequently Asked Questions (FAQs)

##### What is Open Access?

Open Access is a publishing model in which articles and other materials are made freely available online to be used and reused in specific ways. Anyone with an internet connection can access, download, read, copy, print, store and distribute Open Access publications without restriction. Any use for all licenses must be controlled. Open Access increases the access to research.

There are several forms of Open Access, for example Gold Open Access Journal. The journal's policy should be published in the Instructions to Authors (ADO LINK).

##### How much does it cost to publish articles in the journal?

There are many costs associated with publishing scholarly journals, such as those of managing peer review, copy editing, typesetting, online hosting and allied services such as archiving and support for industry infrastructure. To cover these costs in the absence of revenues such as journal subscriptions, authors (or their institutions or funders) need to pay an Article Processing Charge (APC).

The journal charges an APC of [COST] for all article types except [list any article types that are exempt from APCs], which are free to publish.

##### When and how do I pay the Article Processing Charge?

###### [Option 1 (choose only one option depending on your journal's procedures)]

If your manuscript is accepted, the Editorial Office will send the corresponding author a copy of the Open Access payment form with instructions on how to pay the APC. Your manuscript cannot be published until this payment has been received.

###### [Option 2 (choose only one option depending on your journal's procedures)]

If your manuscript is accepted, the Editorial Office will send the corresponding author a link to the payment and License to Publish forms, with instructions on how to pay the APC. Your manuscript cannot be published until this payment has been received.

##### Are there any additional charges?

[If there are no additional charges]

No. The APC replaces the previous publication charges levied by the journal.

[If there are additional color charges]

The journal continues to produce a print version as a service to society members. If color is required in the print version, the charges are [provide a description of these charges].

学協会/出版社が、著者や読者に対して提供すべき情報を提供

メモリの追加 [C11]: Replace "COST" with the APC for your journal. Remember to add the currency (e.g. Yen, US\$, etc.) and any relevant taxes.

メモリの追加 [C12]: Replace the red text and brackets with a list of any article types that do not incur an APC. For example, "...except commissioned Reviews and Mini-Reviews, which are free to publish."

[If there are no article types that are free to publish, delete this part of the sentence, so it reads "The journal charges an APC of [COST] for all article types."

メモリの追加 [C13]: When listing the costs of any additional publication charges, remember to add the currency (e.g. Yen, US\$, etc.) and any relevant taxes.

# 本日の内容

1. 信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件とは  
(第1回セミナーの振り返り等)
  - ー J-STAGE 掲載誌の品質向上に向けた取り組み
  - ー オープンアクセスとは
  - ー オープンアクセスをめぐる国内外の状況
2. J-STAGE におけるオープンアクセスへの対応
  - ー システム改修
  - ー オープンアクセスガイド
  - ー ジャーナルコンサルティング(パイロット)について

# ジャーナルコンサルティング (パイロット) について

Pilot project

## 目的

### (学協会)

- オープンアクセス化についての方針を検討する。
- 信頼性のあるオープンアクセスジャーナルの要件を整える過程で発生する課題を明らかにする。

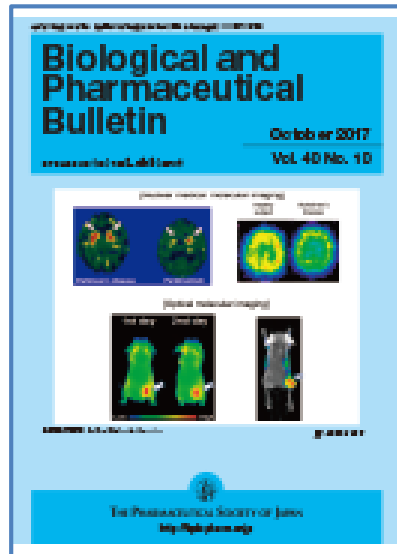
### (JST)

- J-STAGE 掲載誌が信頼されるオープンアクセスジャーナルとなるための要件の整備を支援/促進する。
- 信頼性のあるオープンアクセスジャーナルの要件を整える過程で発生/克服すべき課題を把握する。
- オープンアクセスジャーナルへの移行時に生じる様々な課題の抽出方法や克服方法などのノウハウを蓄積する。
- 本プロジェクトを通じて得たノウハウを学協会と共有する。

# ジャーナルコンサルティング (パイロット) について

Pilot project

## 参加学会誌



会員数 : 18,000人  
年間発行記事数 : 約300記事  
発行頻度 : 年間12回(月刊)

会員数 : 2,500人  
年間発行記事数 : 約100記事  
発行頻度 : 年間6回(隔月刊)





# ジャーナルコンサルティング (パイロット) について

Pilot project

## 実施内容

JST及び海外の専門のコンサルティング会社により、J-STAGEにジャーナルを登載する利用機関に対し、個別事情を踏まえたコンサルティングを行い、J-STAGE登載誌の品質向上のための課題解決に向けた支援を行う。平成29年度はオープンアクセスを主なテーマとして実施。

- 実施期間: 9ヶ月間(平成29年8月～平成30年3月)
- 実施方法
  - オープンアクセスに関するアンケート
  - キックオフミーティング
  - 電話会議
  - メールによる連絡

# ジャーナルコンサルティング (パイロット) について

Pilot project

## 実施内容

### ➤ 実施内容

- オープンアクセスの紹介、信頼されるオープンアクセスジャーナルの要件に関する情報提供
- 発行学会/ジャーナルの現状分析
  - ジャーナル診断(オープンアクセスに関するアンケート)
- オープンアクセスに向けた改善事項と移行に向けたアクションプラン
  - APCの試算
  - 標準ドキュメントに基づく各種ドキュメントの整備、ライセンスの取扱い、FAQ

### ➤ 報告等(学会からJSTへの提出物等)

- 中間報告書、最終報告書
- J-STAGEセミナー等における成果の共有

# ジャーナルコンサルティング (パイロット) について

Pilot project

## 来年度以降について

平成30年度も、J-STAGE掲載誌の品質向上の観点から引き続きジャーナルコンサルティングをパイロットプロジェクトとして実施予定。

- オープンアクセス
- 国際発進力強化
- その他                                      などを検討中。

ジャーナルコンサルティングに興味のある利用機関様やコンサルティングをして欲しい内容など、ご意見がありましたらアンケートに記載をお願いします。

---

**ご清聴ありがとうございました。**